

令和3年度大阪府地域活動栄養士情報交換会

開催日：令和3年7月3日（土）

会場：大阪府社会福祉会館

地域活動部会の中軸を担う23の地域活動栄養士グループを中心に、グループに所属していない会員、他部会会員あわせ計44名が参加し、2年ぶりの情報交換会が開催された。

23グループには、コロナ禍での活動状況やWebの利用状況など、事前にアンケートを実施し、その結果をもとに活発な意見・情報交換が行われた。

アンケート結果について

1. 大阪府栄養士会のホームページについて

見た人は65.7%、その内「仲間探し」のコーナーを見た人は48.7%であった。

2. 昨年の実施事業

コロナ禍の中ではあるが半数のグループが、対面で料理教室や講演会、栄養指導、相談業務を実施していた。対面事業では、全グループが体温計測、換気、マスク着用の徹底、手指消毒などの感染対策を実施していた。また机や椅子の消毒、人数制限、時間制限をしたグループも多かった。

また定例会や勉強会をWebで実施したグループもあった。Webでの実施では、ZoomやLINEを使ったグループが多かったが、「Wi-Fi環境がない」「操作方法がわからないため参加しづらい」という意見もあった。

3. 今後取り組んでいきたい活動

SNSを利用していきたいという意見が多く、中には動画配信実施に向けての勉強会を開催したいというグループもあった。

4. グループで困っていること

会員数の減少、またコロナ禍で定例会が出来なかったことが多かった。

情報・意見交換

1. 会員増のコツについて

会員が増えないという悩みを抱えているグループが多いが、今回大阪府栄養士会ホームページの「仲間探し」コーナーから会員増につながった例の報告があった。新規に入会された方々は他の地域で活動していて、夫の転勤や引っ越し先で活動場所を探していたとのことであった。理事からは、今後も「仲間探し」コーナーを充実させて会員増につなげてほしい、「仲間探し」コーナー作りのお手伝いもするので相談してほしいとのことであった。

2. 対面で実施した事業での感染防止対策マニュアルについて

マニュアルを作ったグループの作った経緯、内容の報告があった。

一つは、高齢者料理教室で、実施場所であるデイサービス側と協力して作成した。徹底した消毒、人数制限や座席の座り方、また食器・用具は前日にデイサービス側ですべて熱湯消毒するなどであった。高齢者はおしゃべりしたいので嫌がるが、食べる時以外はマスクを着用することを徹底したということであった。

また文化会館で行っている高齢男性向け料理教室では、社会福祉協議会からいただいた「通いの場を開催するための留意点（厚生労働省）」を使い、出来るだけ自分で作って自分で食べる1人完結型のメニューを提供していたとの報告があった。

3. Webを使った活動についての報告

保健センターから依頼の料理教室で、調理実演はノートパソコンで写し、別室で対象者が見るといものだが、採光の加減が難しかった。

社会福祉協議会からの依頼で、高齢者向け料理のレシピ動画を15種作成、冊子と共に100部配布したグループがあった。

編集ソフトを購入し、「免疫レシピ」を動画で作成、YouTubeに公開しているグループがあった。

講演会をWebで行ったグループもあり、地域包括支援センターに相談したところ、Webに詳しい担当者の協力を得られた事例や、講演をお願いした講師がZoomのホストを引き受けてくれたなどの事例が報告された。

まずは、Webに詳しい人を見つけ、そこから先にすすめていくことも一つの方法ではないかということであった。

コロナ禍ならではの事業のあり方や、私達の苦手とするWebを使っての事業など、各グループの今後の活動に活かせる報告を受け、また、交換会終了後も各グループ同士の意見交換が盛んに行われており、有意義な交換会であった。

(文責 地活 川崎美也子)